

## 令和5年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立 清原東小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、令和5年度「とちぎっ子学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

### 【調査の概要】

#### 1 目的

本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

#### 2 調査期日

令和5年4月18日(火)

#### 3 調査対象

小学校 第4学年、第5学年（国語、算数、理科、質問紙）

中学校 第2学年（国語、社会、数学、理科、英語、質問紙）

#### 4 本校の実施状況

|      |    |     |    |     |    |     |
|------|----|-----|----|-----|----|-----|
| 第4学年 | 国語 | 61人 | 算数 | 61人 | 理科 | 61人 |
| 第5学年 | 国語 | 59人 | 算数 | 59人 | 理科 | 59人 |

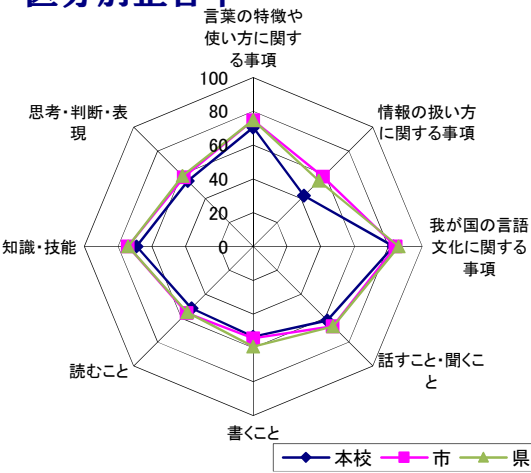
#### 5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年、実施教科が限られていることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立清原東小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分             | 本年度  |      |      |
|-----|----------------|------|------|------|
|     |                | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 言葉の特徴や使いに関する事項 | 70.4 | 74.7 | 74.8 |
|     | 情報の扱いに関する事項    | 42.4 | 58.4 | 55.0 |
|     | 我が国の言語文化に関する事項 | 83.1 | 84.3 | 86.1 |
|     | 話すこと・聞くこと      | 61.9 | 66.7 | 66.9 |
|     | 書くこと           | 53.4 | 54.3 | 59.3 |
|     | 読むこと           | 51.7 | 55.6 | 55.2 |
| 観点  | 知識・技能          | 69.0 | 74.1 | 74.0 |
|     | 思考・判断・表現       | 54.7 | 58.0 | 59.1 |



★指導の工夫と改善

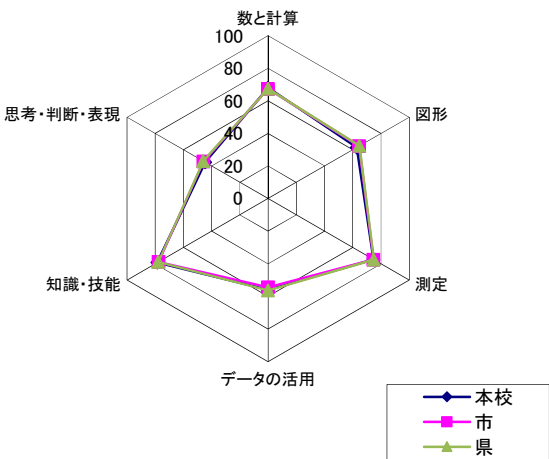
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分          | 本年度の状況                                                                          | 今後の指導の重点                                                                          |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 言葉の特徴や使いに関する事項 | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>○3学年に配当されている漢字を正しく読めている。<br>●第3学年に配当されている漢字を書くことに課題が見られる。 | ・学習した漢字を日常的に使う習慣が身に付くよう指導する。<br>・習っている漢字だけでなく前の学年の漢字も復習として取り入れながら、ノート指導を行う。       |
| 情報の扱いに関する事項    | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>●国語辞典の使い方に課題が見られ、文と意味を照らし合わせるのが難しい。                         | ・国語辞典の使い方を再確認し、国語辞典を使って意味を調べる活動を意図的に設定する。                                         |
| 我が国の言語文化に関する事項 | 平均正答率は、市の平均と同程度だった。<br>○漢字のへんやつくりを理解している児童が多い。                                  | ・今後も、漢字の成り立ちや意味が理解できるよう、関連付けながら指導していく。                                            |
| 話すこと・聞くこと      | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>●話し手が伝えたいことを理解することが難しい。                                     | ・中心となる語や文を聞き取り、話の内容を捉える力を育てていく。                                                   |
| 書くこと           | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>●熟語の漢字の書き取りに課題がある。<br>●無回答率が高く、自分の考えを明確にして書くことに課題がある。       | ・新出漢字の学習の際に、へんやつくりの確認も合わせて繰り返し指導していく。<br>・条件に合わせて書く機会を授業の中で多く設ける。                 |
| 読むこと           | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>○文章を読んで登場人物が話をしている内容を捉えることができる。<br>●叙述をもとに段落の内容を捉えることが難しい。  | ・説明文の内容を読み取る練習を増やし、大切な語や文をとらえる指導を行う。<br>・書き手の考えが書かれている場所を探し、読み取ったことを文章にまとめる活動を行う。 |

宇都宮市立清原東小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分       | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 数と計算     | 68.0 | 67.3 | 67.4 |
|     | 図形       | 62.7 | 64.5 | 64.7 |
|     | 測定       | 74.6 | 74.7 | 74.9 |
|     | データの活用   | 55.9 | 54.4 | 56.4 |
| 観点  | 知識・技能    | 78.5 | 77.6 | 77.8 |
|     | 思考・判断・表現 | 44.6 | 45.8 | 46.1 |



★指導の工夫と改善

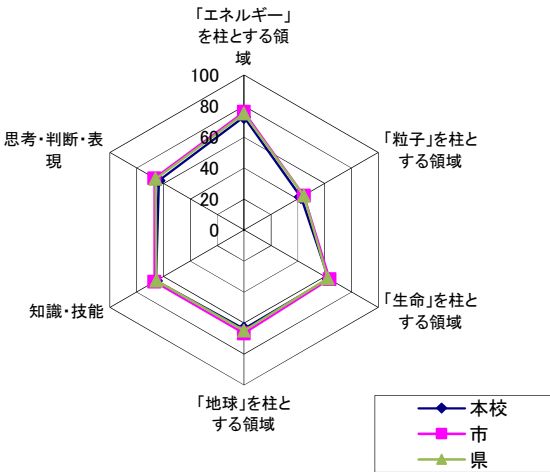
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分  | 本年度の状況                                                                                                                                 | 今後の指導の重点                                                                                                                                          |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算   | 平均正答率は、市の平均と同程度だった。<br>○小数のしくみや表し方として正しいものを選ぶ問題や、同分母の真分数＋真分数＝真分数の計算をする問題がよくできている。<br>●整数－小数第一位の計算をする問題や、式の意味を正しくとらえ、言葉で説明する問題に課題が見られる。 | ・整数－小数第一位の計算ができるよう、位を揃えて筆算できるよう指導する。<br>・問題場面を正しく読み取って想像し、ペアで説明する場面などを授業に取り入れる。<br>・示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数のひき算と整数のひき算に直して処理する方法の説明ができるようにする。 |
| 図形     | 平均正答率は、市の平均と同程度だった。<br>○二等辺三角形を作図する問題や、円の半径と直径について正しいものを選ぶ問題がよくできている。<br>●円の性質を考え、コンパスを使って正三角形が作図できることを説明する問題に課題が見られる。                 | ・円の性質について、自分の言葉で説明できるよう再確認する。                                                                                                                     |
| 測定     | 平均正答率は、市の平均と同程度だった。<br>○地図から道のりを読み取って、その和を求める問題がよくできている。<br>●時間が経過する前の時刻を求める問題に課題が見られる。                                                | ・時間が経過する前の時刻を計算できるよう、実物の時計を使って考えさせる。                                                                                                              |
| データの活用 | 平均正答率は、市の平均と同程度だった。<br>○棒グラフを読み取り、2番目に多かったスポーツを答える問題がよくできている。<br>●2つの棒グラフで1目盛りの数が異なることに注意しながら、棒グラフを読み取り、正しいものを選ぶ問題に課題が見られる。            | ・グラフの1めもりが表す大きさを読み取ることができるようにするため、1めもりの表す大きさが違うグラフを複数提示し、読み取りに慣れるようにする。                                                                           |
|        |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                   |

宇都宮市立清原東小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分             | 本年度  |      |      |
|-----|----------------|------|------|------|
|     |                | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 「エネルギー」を柱とする領域 | 73.0 | 76.2 | 75.1 |
|     | 「粒子」を柱とする領域    | 42.4 | 44.5 | 44.5 |
|     | 「生命」を柱とする領域    | 63.0 | 63.6 | 62.3 |
|     | 「地球」を柱とする領域    | 63.7 | 66.6 | 64.9 |
| 観点  | 知識・技能          | 65.6 | 66.8 | 65.4 |
|     | 思考・判断・表現       | 63.6 | 66.8 | 65.9 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分          | 本年度の状況                                                                                                                                               | 今後の指導の改善                                                                 |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 「エネルギー」を柱とする領域 | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>○鏡で反射した光の進み方を選ぶ質問や、磁石に引きつけられる空き缶の材質を選ぶ質問では、市や県の正答率を上回っている。<br>●実験結果から推測して選ぶ質問での正答率が40.7%であり、市の正答率が58.3%、県の正答率が54.9%であるのに対して低い。 | ・学習の見通しをもたせ、予想や推測をもとに観察や実験に取り組ませる。                                       |
| 「粒子」を柱とする領域    | 市や県の正答率と同程度である。<br>●無回答率が市や県の割合に比べるとやや高めである。                                                                                                         | ・実験や観察を通して学んだことを、自分の言葉で記述し、対話をしながら深められるようにする。                            |
| 「生命」を柱とする領域    | 市や県の正答率と同程度である。<br>●虫眼鏡の正しい使い方を答える質問での正答率が6.8%であり、市の正答率が21.5%、県の正答率が22.6%であるのに対して低い。<br>●ホウセンカの成長のようすを観察した順に答える質問では、正答率が10.2%であり、市や県の正答率に対し、やや低い。    | ・観察では、観点を合わせて比較することを事前に確認するようにする。また、言葉だけの理解にとどまらずに、実物やイラストと一致できるように指導する。 |
| 「地球」を柱とする領域    | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>○かげや太陽の位置を考える設問では正答率が91.5%と正答率が高かった。<br>●温度計の使い方についての問題に課題が見られる。                                                               | ・実験や実体験に基づいた学習は、よく定着していると考えられるが、基礎的に知識について定着に差が見られるので、定期的な復習を行う。         |

## 宇都宮市立清原東小学校 第4学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学校のきまりを守っている」について、肯定的回答が100%で県の肯定的回答を7.6ポイント上回っている。きまりを守って生活することは、学校生活のすべての基盤となっていくので、今後も継続して支援を続けていく。

○「毎日同じくらいの時頃に寝ている」について、県の肯定的回答を10.8ポイント上回っている。家庭での支援や声掛けが十分になされていることが分かる。今後も学校と家庭が連携を図ることで、児童がよりよい生活を送れるようにしていきたい。

○「自分にはよいところがあると思う」について、肯定的回答は88.3%で、県の肯定的回答を7.6ポイント上回っている。キャリアパスポート等で、自分を見つめて生活を振り返る機会を設けていくことで、前向きに自分を見つめることができるよう今後も支援していく。

○「時間を上手に使うことを心がけている」について、肯定的回答86.7%で、県の肯定的回答を9.5ポイント上回っている。限られた時間の中で、自分で考えて計画的に物事を進められるよう、今後も指導していきたい。

●「漢字の読み方や言葉の意味がわからないときは、辞書を使って調べている」について、肯定的回答53.3%で、県の肯定的回答を8.9ポイント下回っている。学校でも辞書に触れる機会を増やしていく必要がある。

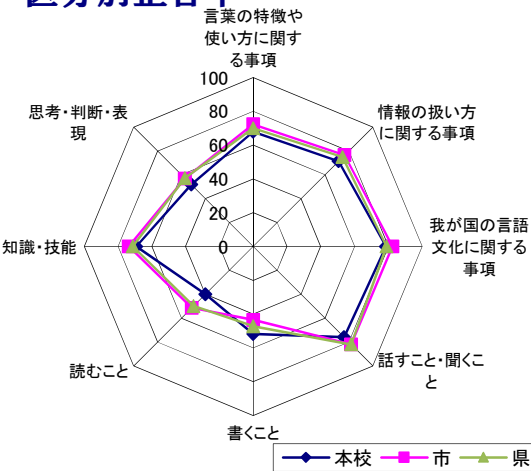
●「歴史上の人物や出来事を扱っているテレビを見たり本を読んだりするのは好きだ」について、肯定的回答55%で県の肯定的回答を8ポイント下回っている。図書室での学習の際に歴史の本を紹介したり、歴史上の出来事について話す機会を設けたりして、児童が興味関心をもつような仕掛けを作っていく必要がある。

●平日にゲームをしたり、インターネットをしたりする時間は2時間以上の割合がともに6ポイント上回っている。学校での指導とともに、家庭への呼びかけが必要である。

宇都宮市立清原東小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分               | 本年度  |      |      |
|-----|------------------|------|------|------|
|     |                  | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 言葉の特徴や使い方にに関する事項 | 67.9 | 72.3 | 70.0 |
|     | 情報の扱い方にに関する事項    | 71.4 | 76.4 | 74.9 |
|     | 我が国の言語文化にに関する事項  | 78.6 | 82.4 | 78.9 |
|     | 話すこと・聞くこと        | 75.9 | 81.9 | 82.0 |
|     | 書くこと             | 51.8 | 43.5 | 47.2 |
|     | 読むこと             | 40.0 | 51.4 | 49.8 |
| 観点  | 知識・技能            | 69.2 | 73.6 | 71.3 |
|     | 思考・判断・表現         | 51.9 | 57.1 | 57.2 |



★指導の工夫と改善

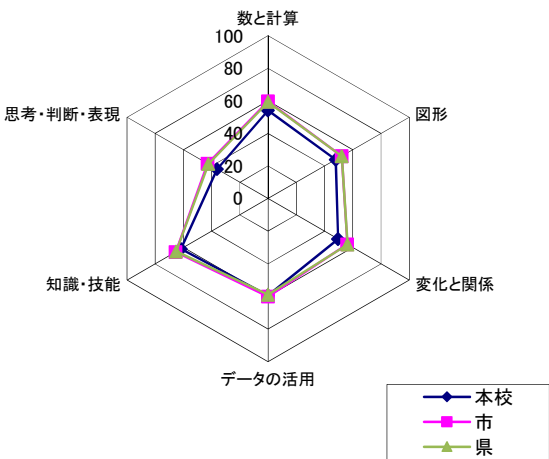
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分            | 本年度の状況                                                                                                                         | 今後の指導の重点                                                                                       |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 言葉の特徴や使い方にに関する事項 | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>○4学年に配当されている漢字を正しく読めている。<br>○文の中にある修飾語と被修飾語の関係を捉えることができる。<br>●第4学年に配当されている漢字を書くことに課題が見られる。               | ・日常生活の中で、習った漢字を使っていくことを指導する。<br>・新出漢字だけでなく前の学年の漢字も復習として取り入れながら、ノート指導を行う。                       |
| 情報の扱い方にに関する事項    | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>●漢字辞典の使い方に課題が見られる。                                                                                         | ・新出漢字の指導の際に、漢字辞典を繰り返し使うように指導していく。                                                              |
| 我が国の言語文化にに関する事項  | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>●ことわざの言葉の意味を理解して正しく使うことに課題がある。                                                                           | ・朝の学習や家庭学習などで自主的に進められるように、プリントなどを用意し、ことわざや慣用句などに触れるようにする。                                      |
| 話すこと・聞くこと        | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>●司会者の役割を果たしながら、意見の共通点に着目して考えをまとめる力に課題が見られる。<br>●相手に伝わるように自分の考えを理由を挙げながら話すことが難しい。<br>○話し手が伝えたいことを捉えることができる。 | ・朝のスピーチで、相手に伝わるように自分の考えをまとめて話をする練習をしたり、スピーチしたことに対して質問を考えたりさせる。その際、話をする型や質問の型をいくつか用意する。         |
| 書くこと             | 平均正答率は、市の平均より高い。<br>○指定された長さで文を書くことができる。<br>○内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書くことができる。                                                     | ・日常での国語の授業や宿題、朝の学習などの機会を使って、指定した長さや条件で短文や長文を書く活動を取り入れる。<br>・各教科での関連を図り、まとめや考察などを書く活動などに活かしていく。 |
| 読むこと             | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>●登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えることが難しい。<br>●長文読解に苦手意識がある。                                                            | ・読書をする時間を確保する。また、選書を工夫し意図的にさまざまなジャンルの本に触れる機会を増やしていく。                                           |

宇都宮市立清原東小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分       | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 数と計算     | 54.1 | 59.7 | 59.2 |
|     | 図形       | 47.9 | 52.1 | 52.1 |
|     | 変化と関係    | 49.6 | 56.1 | 56.3 |
|     | データの活用   | 59.4 | 60.1 | 58.9 |
| 観点  | 知識・技能    | 61.8 | 65.5 | 65.1 |
|     | 思考・判断・表現 | 36.1 | 42.9 | 42.4 |



★指導の工夫と改善

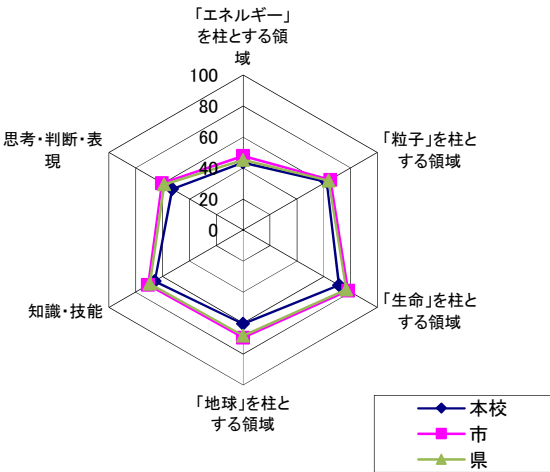
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分  | 本年度の状況                                                                                                                                      | 今後の指導の重点                                                                                            |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算   | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>○3けた÷2けた=2けた(余りあり)の計算や大きい数の読み方として正しいものを選ぶ問題についてはよくできている。<br>●小数を集めた数を答えたり、目的に応じて正しく見積もっているものを選んだりする問題や、小数のわり算の計算に課題がある。 | ・小数第一位÷整数=小数第一位の計算ができるよう、計算問題を繰り返して習熟を図る。<br>・数字を概数に直して正しく見積もることができるよう、日常的に概算で計算の見通しをもつ習慣をつけるようにする。 |
| 図形     | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>○三角定規を利用して、正しい角度を選ぶ問題はできている。<br>●身近なものの面積と単位として正しいものを選んだり、面積の単位の関係を説明したりする問題に課題がある。                                   | ・日常的に、身近なものの大きさや面積に触れながら指導する。<br>・面積の単位の関係を、自分の言葉で説明する時間を設ける。                                       |
| 変化と関係  | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>○表を見て1つの数量の変化から、他の数量の変化を読み取ることはできる。<br>●伴って変わる2つの数量の関係について、表をたてに見て分かることを説明することに課題がある。                                   | ・伴って変わる2つの量の関係について、さまざまな見方で表を読み取り、言葉や数を使って説明する時間を設定する。                                              |
| データの活用 | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>○2つの折れ線グラフから分かることを答えたり、条件にあてはまる表の部分を選んだりすることはできる。<br>●表を読み取り、条件にあてはまる人数を答える問題に課題がある。                                  | ・グラフや表の読み方の理解を確認し、どの数字が何を表しているかを説明できるように指導する。<br>・表の空欄に入る数字を計算するために、思考のプロセスを考えながら問題解決できるように指導する。    |
|        |                                                                                                                                             |                                                                                                     |

宇都宮市立清原東小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分             | 本年度  |      |      |
|-----|----------------|------|------|------|
|     |                | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 「エネルギー」を柱とする領域 | 43.5 | 47.8 | 45.3 |
|     | 「粒子」を柱とする領域    | 62.3 | 64.9 | 63.6 |
|     | 「生命」を柱とする領域    | 71.4 | 78.2 | 76.8 |
|     | 「地球」を柱とする領域    | 60.6 | 69.5 | 68.1 |
| 観点  | 知識・技能          | 65.9 | 70.8 | 69.5 |
|     | 思考・判断・表現       | 52.9 | 60.5 | 58.8 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分          | 本年度の状況                                                                                     | 今後の指導の改善                                                                               |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 「エネルギー」を柱とする領域 | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>●電流が大きくなる回路を選ぶことに課題が見られる。                                            | ・実験の結果だけでなく、結果から推測できることを一人一人がしっかりとまとめられるようにして、さらに全体で深めていく。                             |
| 「粒子」を柱とする領域    | 平均正答率は、市やの平均よりやや低い。<br>○金属の温まり方について答える問題がよくできている。<br>●水や空気をあたためたときの体積の変化について考えることに課題が見られる。 | ・授業の中で実験の結果から分かったことを、ポイントを押さえながら自分の言葉で記録できるよう支援していく。                                   |
| 「生命」を柱とする領域    | 平均正答率は、市やの平均より低い。<br>●サクラのようすがどのように変化するかを考える問題の正答率が低く、課題が見られる。                             | ・授業の中だけでなく、普段の生活の中で、身の回りの変化の様子に目を向けるように、普段から声をかける。一人一台端末を活用し記録を継続するなどして、理解を深められるようにする。 |
| 「地球」を柱とする領域    | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>○月の名称を答える問題はよくできている。<br>●天気の名を答える問題については課題が見られる。                       | ・語句の内容までしっかり理解し、定着するよう指導する。また、その語句を使って実験や観察のまとめを自分の力で書いていけるように支援していく。                  |

## 宇都宮市立清原東小学校 第5学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○家庭での学習についての質問では、「家で学校の宿題をしている」と回答した児童が98.3%、「宿題の量はちょうどいい」と回答した児童が96.6%、「学校の宿題は自分のためになっている」と回答した児童が100%となっており、児童が宿題に意欲的に取り組んでいることがわかる。基礎基本の定着のためにも今後も継続していく。

○「学習で身につけたことは将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」と回答した児童は100%となっている。将来の夢を持っている児童が多い。自己肯定感が高い児童が多い。学習が将来役に立つと考えている児童が多い。ふれあい発見ラリーを通しての他者とのふれあいや将来の夢の揭示など、将来の夢をもったり考えたりすることができている。

○「先生は学習のこと褒めてくれる」と回答している児童は、94.8%と市の肯定割合より7.6ポイント高い。学校全体で児童を認め励ます教育を進めるとともに、友達のよさを伝え合う活動を今後も継続していきたい。

○「理科の授業で学習したことが普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答している児童は市の肯定割合より11.4ポイント高い。児童は理科の学習に興味関心をもって取り組んでいることがわかる。今後も、分かる・楽しい授業の展開をしていくだけでなく、他の教科でも同様に取り組んでいきたい。

●「家で学校の授業の復習をしている」と回答している児童は、市の肯定割合より13.6ポイント低い。宿題についてはしっかり取り組んでいる児童が多いが、復習や予習、自分の関心のある学習などに自主的に取り組めていないことが分かる。自主学习については学級活動などを利用して進め方や計画の立て方などを指導していきたい。

●「ふだん(月～金)1日当たりどれくらいの時間、テレビやDVD動画などを見たり聞いたりしますか」の問いでは、2時間以上3時間未満と回答している児童は、市の肯定割合より12.5ポイント高い。「ふだん(月～金)1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム(コンピュータ、携帯式ゲーム、携帯やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」の問いでは、3時間以上4時間未満と答えている児童が市の肯定割合より8.2ポイント高い。このことから、学校のある平日でも動画視聴やゲームの時間を使っている児童が多いことが分かる。家庭の協力も得ながら、利用の約束を決めたり、学級活動や保健などでインターネットの利用についての正しい知識を指導していきたい。

●土日の学習時間が1時間未満と回答している児童が48.3%と多い。宿題だけでなく、自主学习等の習慣づけを図っていきたい。

## 宇都宮市清原東小学校 (第4・5学年共通) 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組                         | 取組の具体的な内容                                                                                                                                                | 取組に関わる調査結果                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基礎的・基本的な学習を身に付け言語感覚を豊かにする指導の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字計算オリンピック、朝の学習等の工夫による基礎・基本の定着</li> <li>言葉に着目させる問いかけの工夫と効果的な言語活動の設定</li> <li>一人一台端末を活用した協働学習での対話的な学び合い</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>国語では言葉の特徴や使い方に関する事項で、算数では数と計算で課題が見られた。</li> <li>クラスの友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると考える児童が多い。</li> <li>条件に合わせて書く活動に苦手意識が見られた。</li> </ul> |

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

| 調査結果等に見られた課題                                                                                                              | 重点的な取組                                                                                    | 取組の具体的な内容                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>語彙力や自分の考えを書くための表現力が不十分である。</li> <li>家庭での学習時間が少ないことや復習などの自主学习への取組に課題がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>語彙力や表現力を付ける取組の工夫</li> <li>家庭学習の充実を図る取組。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>スマイルネクストドリルを活用した反復練習を行い、漢字や語句の理解や計算力をつける。</li> <li>視写に取り組ませたり、国語辞典、漢字辞典を活用し語句を増やしたりすることにより表現力を養う。</li> <li>国語の授業では、児童が見通しをもち意欲的に取り組めるような言語活動を工夫する。</li> <li>自主学习を計画的に取り組めるよう工夫する。</li> </ul> |